



15年度の業績は、14年度に比べると若干改善させることができた。北陸新幹線などの鉄道関係と

中央復建コンサルタンツ 兼塚 卓也社長

道路の維持・管理業務が増加したことが要因だ。

13年7月に社長に就任したが、昨年はじっくりいろいろなことに取り組めた年だとも言える。中

でも、当社で初の取り組みとなる中期経営計画について、4月のスタートに向けてしっかりと議論す

ることを目指している。

得意分野である鉄道と維持管理業務を大幅に伸ばし、その他の業務は現状を維持したい。特に鉄

道は、北陸新幹線の金沢〜敦賀間と将来的には大

阪までの延伸を視野に入

れた受注戦略を展開した

いと考えている。

関西の公共事業は減少

傾向にあるが、以前に増

員した東京の人員は維持

しつつ関西に軸足を置い

た経営を進めていく。

競争に勝っていくため

は、業務成績の評定点を

上げて優良表彰数を増加

させることに加え、生産

性を高めることが重要

だ。協力会社の零細化と

人材は、毎年10人程度

の新卒採用に加え、手薄

な30代の中途採用を積極

的に行いたい。雇用形態

の改善を含めて技術者不

足に対応していく。

地方創生をキーワード

とした新たなまちづくり

や、ビッグデータの活用

のノウハウ提供、小型

無人機（ドローン）や3

Dを駆使したICT測量

などにも注力したい。

初の中期経営計画をスタート

取り組む。